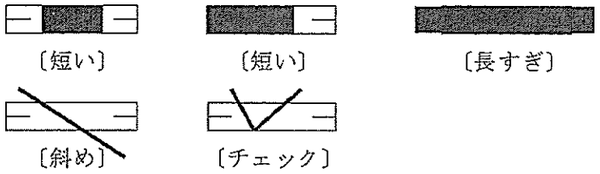
指示があるまで開いてはいけません。

解答用紙（マークシート）記入上の注意事項

1　この用紙を折ったり、丸めたり、汚したりしないこと。
2　鉛筆（ＨＢ）で濃く、はっきりとマークすること。
3　正しい記入例



※誤った記入例（この場合は、誤答とみなされます。）



4　マークミスに気付いたときは、プラスチック製の消しゴムで「消しあと」が残らないよう、きれいに消してからマークし直すこと。「消しあと」が残っている場合は、誤答となります。
5　解答用紙の「氏名」、「受検地」、「受検番号」及び「受検区分・教科・科目」は、次のとおり記入（マーク）すること。
(1)　「受検番号」マーク欄は、例えば、受検番号が「１２３４５６」の場合、

受検番号					
1	2	3	4	5	6
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

と記入及びマークすること。
(2)　「受検区分・教科・科目」マーク欄も、上記の例によりコードを記入及びマークすること。
(3)　文字で記入する「氏名」、「受検地」、「(受検区分)」、「(教科)」及び「(科目)」並びに算用数字で記入する「受検番号」及び「受検区分・教科・科目」コードも忘れずに記入すること。

令和６年度（2024年度）　北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査

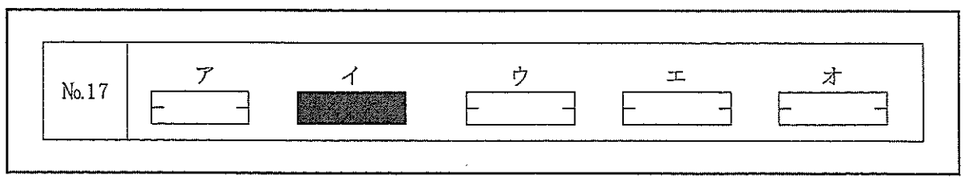
第１次検査 専門検査（Ｉ） 問題用紙

受検区分	教　科
養　護　教　諭	

（注　意）
1　検査の時間は60分です。
2　検査問題用紙が出願した受検区分、受検教科に合致していることを必ず確認し、異なっている場合は挙手すること。
3　解答用紙が専門検査（Ｉ）の用紙であることを必ず確認し、異なっている場合は挙手すること。
4　質問がある場合は、挙手すること。
　ただし、問題の内容や答えの書き方についての質問には応じられません。
5　解答は、解答用紙の注意事項をよく読み、各設問の末尾に指定された解答番号のマーク欄に鉛筆（ＨＢ）で濃く、はっきりとマークすること。
（例）

第11問　北海道について、問１、問２に答えなさい。
　問１　北海道庁の所在地を選びなさい。　No.17
　　ア　函館市　　イ　札幌市　　ウ　岩見沢市　　エ　旭川市　　オ　釧路市

この場合は、正答は【イ　札幌市】ですから、解答用紙の解答番号No.17のマーク欄のイのところにマークします。



6　正答は一問につき一つです。解答肢の「ア～オ」又は「ア～エ」から一つ選び、解答用紙のマーク欄ア～オのいずれか一つのみマークすること。
7　受検番号、氏名等を必ず記入すること。
8　解答する問題はNo.１～No.24までです。解答用紙のマーク欄はNo.１～No.24までを使用すること。なお、No.18～No.20及びNo.21、No.22は完全解答です。

第１問　次は、学校保健安全法の一部である。問１、問２に答えなさい。

> 第四条　学校の設置者は、その設置する学校の児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、当該学校の施設及び設備並びに［①］の整備充実その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。
> 第五条　学校においては、児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、児童生徒等及び職員の健康診断、環境衛生検査、児童生徒等に対する指導その他保健に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。
> 第八条　学校においては、児童生徒等の心身の健康に関し、［②］を行うものとする。
> 第九条　養護教諭その他の職員は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の健康状態の日常的な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、遅滞なく、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その保護者に対して必要な［③］を行うものとする。
> 第十条　学校においては、［④］、健康相談又は保健指導を行うに当たっては、必要に応じ、当該学校の所在する地域の医療機関その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

問１　空欄①～④に当てはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 1

	①	②	③	④
ア	管理運営体制	健康相談	助言	救急処置
イ	管理運営体制	疾病の予防処置	支援	健康診断
ウ	管理運営体制	疾病の予防処置	助言	健康診断
エ	環境	疾病の予防処置	助言	救急処置
オ	環境	健康相談	支援	健康診断

問２　下線部について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 2

ａ　学校において必要とされる保健に関する具体的な実施計画であり、毎年度、学校の状況や前年度の学校保健の取組状況等を踏まえ、作成する。
ｂ　校長の経営方針を踏まえた上で、保健主事のリーダーシップにより各校内組織と連携を図りながら案を作成し、校長の決裁を受けて策定される。
ｃ　計画の内容については、学校教育法等において学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するものとされていることを踏まえ、原則として保護者等の関係者に周知を図る。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	誤	正
オ	誤	誤	誤

第２問　保健管理について、問１～問６に答えなさい。

問１　学校における救急処置について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 3

ａ　学校は、医療機関ではないため、学校における救急処置は医療機関での処置が行われるまでの応急的なものである。
ｂ　救急処置と合わせて、発達の段階に即した、疾病やけがなどに関する児童生徒への保健指導を行う。
ｃ　被害児童生徒等の生命に関わる緊急事案については、管理職へ報告してから救命処置を行う。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	誤
エ	誤	誤	正
オ	誤	誤	誤

問２　児童生徒等の健康診断について、(1)、(2)に答えなさい。

(1) 結核の有無の検査について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 4

ａ　長期欠席をしており、定期健康診断を受けることができなかった児童生徒が登校してきた場合、翌年度の定期健康診断を待たず、すみやかに健康診断を実施する必要がある。特に、結核を含む感染性の疾病等の有無の確認については、保健調査票の記入と健康観察もしっかり行うことが重要である。

ｂ　学校は、検査の事後措置として、児童生徒が結核に罹患していることがわかった時点で、感染症予防法第12条に基づき、保健所に届け出ることが義務付けられている。

ｃ　過去３年以内に結核高まん延国で６ヵ月以上の滞在歴がある児童生徒等は、入学時または転入時に１回の精密検査の対象となる。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	正

(2) 健康診断に関する内容として、誤っているものの組合せを選びなさい。　No. 5

①　学校保健安全法施行令に規定された検査の項目について実施し、疾病や異常の確定診断を行うものである。

②　学習指導要領解説特別活動編において、健康安全・体育的行事として例示されており、教育活動として実施されるという一面ももっている。

③　校長は、児童又は生徒が進学した場合は、健康診断票を進学先の校長に送付しなければならない。

④　学校において健康診断を行ったときは、30日以内にその結果を当該児童生徒等及びその保護者に通知することとされている。

⑤　学校での色覚の検査の実施には、児童生徒等や保護者の事前の同意が求められる。その際、保護者へ色覚の検査の意義について説明した上で、学校医と相談し、希望者を対象に検査を実施する。

ア　①③　　イ　①④　　ウ　②④　　エ　②⑤　　オ　③⑤

問３　健康観察について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 6

ａ　朝の健康観察は、全校一斉に行うことから、組織的に実施する必要があり、実施方法等について、教職員の共通理解を得ることが重要である。

ｂ　子どもの発達段階や年齢に応じてかかりやすい病気等を考慮した上で実施する必要があるため、観察項目、手順等については、学校保健安全法施行規則に定められている。

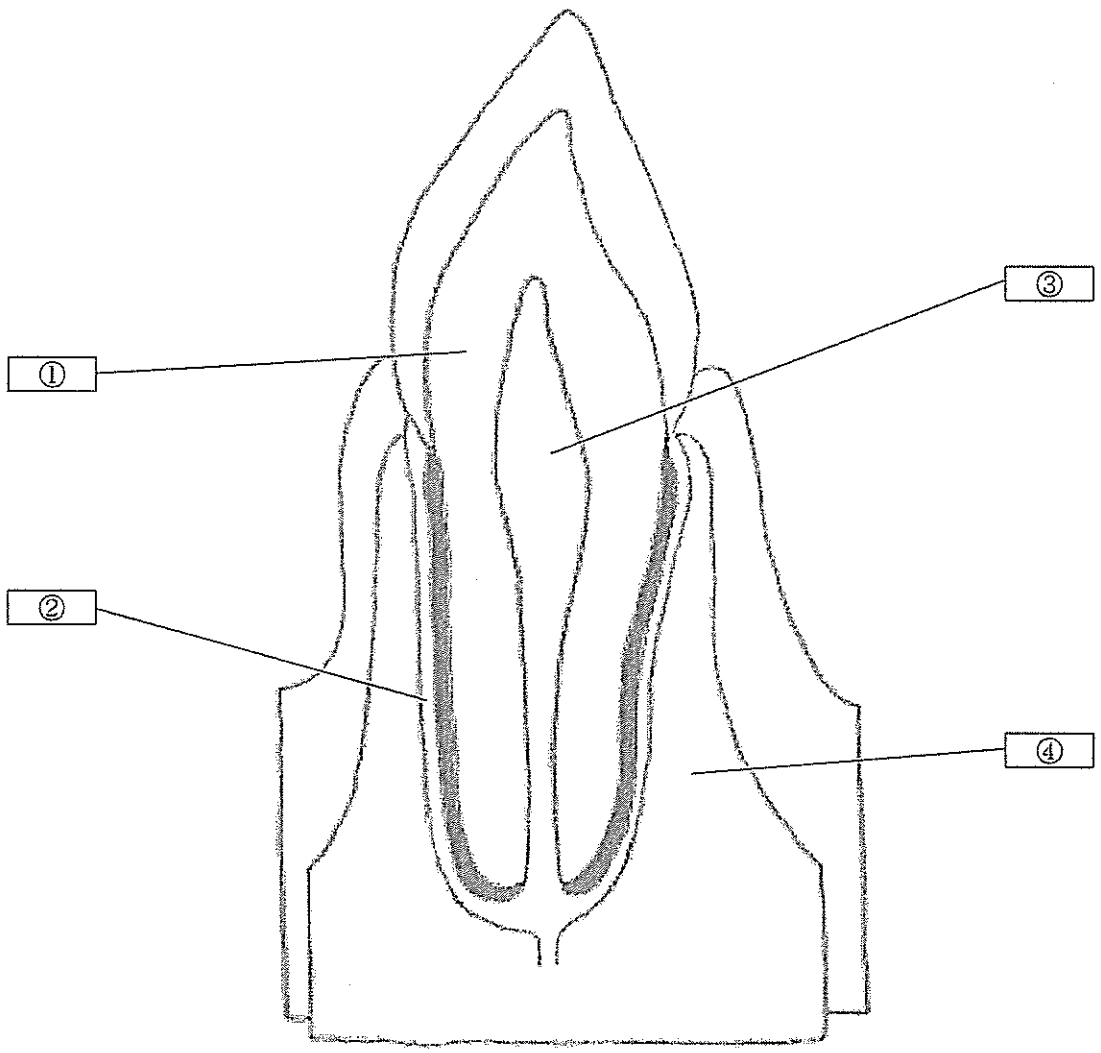
ｃ　子どもは、心の問題が顔の表情や行動に現れたり、頭痛・腹痛などの身体症状となって現れたりすることが多いが、脳の機能障害や心身症などの疾患が原因となっている場合があることから、心の問題が疑われる場合でも、まず、身体的疾患があるかないかを見極めてから対応することが大切である。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	誤	正
オ	誤	誤	誤

問４　歯及び口腔に関する内容について、(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の図は、歯の構造について模式的に示したものである。空欄①～④に当てはまる名称の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 7

図



	①	②	③	④
ア	エナメル質	セメント質	歯髄	歯槽骨
イ	エナメル質	歯根膜	歯髄	セメント質
ウ	エナメル質	歯根膜	歯槽骨	セメント質
エ	象牙質	セメント質	歯槽骨	歯髄
オ	象牙質	歯根膜	歯髄	歯槽骨

(2) 歯・口腔の外傷について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。　No. 8

ａ　マウスガードとは、「スポーツによって生ずる口腔外傷、特に歯とその周囲組織の外傷発生やダメージを軽減するために口腔内に装着する安全具」を指し、歯の外傷は圧倒的に下顎の前歯に集中するため、通常は下顎に装着する。

ｂ　歯の脱臼は、できる限り早急に歯科医療機関で再植することが重要であり、再植するためには歯根周辺の組織が必要であるため、脱臼した歯は歯冠部を持つようにし、歯根部には触らないことが原則である。

ｃ　脱臼した歯が清潔で子どもが比較的落ち着いている場合には、脱臼直後は知覚が麻痺していることが多いため、手圧で整復できる場合が多々ある。

	a	b	c
ア	正	正	誤
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	正
オ	誤	正	誤

問５　感染症について、(1)、(2)に答えなさい。

(1) 学校保健安全法施行規則において、第二種に指定されている感染症として、誤っているものの組合せを選びなさい。 No. 9

① 髄膜炎菌性髄膜炎
② 咽頭結膜熱
③ 急性灰白髄炎
④ 百日咳
⑤ 流行性角結膜炎

ア ①③　イ ①④　ウ ②④　エ ②⑤　オ ③⑤

(2) 次の①～④で説明される感染症の疾病名として、最も適当なものをそれぞれ選びなさい。

① 病初期から連続して止まらない咳が特徴で、発熱することは少ない。年齢が低いほど症状は重く、子どもによっては回復するのに２、３週間から数ヵ月かかることがある。 No. 10

② 発疹は体と首のあたりから顔面に生じやすく、発熱を認めることが多い。発疹は紅斑、水疱、膿疱、かさぶたの順に変化する。 No. 11

③ 原因となる菌が肺の内部で増えるため、咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状を呈することが多い。特に小児では症状が現れにくく、全身に及ぶ重篤な状態につながりやすいため、注意が必要である。 No. 12

④ 発熱、咳や鼻水などの呼吸器症状と眼球結膜の充血、目やに、頬粘膜にコプリック斑が出現する。熱が一旦下がりかけ、再び高熱が出てきたときに赤い発疹が生じる。 No. 13

ア インフルエンザ
イ 百日咳
ウ 麻しん
エ 水痘
オ 結核

問６　学校環境衛生活動について、(1)、(2)に答えなさい。

(1) 学校環境衛生検査について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No. 14

ａ　定期検査の実施に当たっては、その内容により、学校薬剤師が自ら行う、学校薬剤師の指導助言のもとに教職員が行う、又は学校薬剤師と相談した上で外部の検査機関に依頼することなどが考えられるが、いずれの場合も校長の責任のもとで実施する。
ｂ　日常点検は、毎授業日の授業開始時、授業中、又は授業終了時等において、主として官能法により行い、各教室の環境については学級担任の役割とするなど、校務分掌等に基づき教職員の役割を明確にした上で、確実に実施する。
ｃ　臨時検査は、感染症が発生したときや、新しい机やいすが搬入され、揮発性有機化合物の発生のおそれがあるときなど、必要に応じて行い、実施に当たっては、定期検査とは別に定められた方法で実施する。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	正
エ	誤	正	正
オ	誤	誤	誤

(2) 学校環境衛生基準の判定基準には、「～であること」とされている検査項目と「～であることが望ましい」とされている検査項目がある。「～であること」とされている検査項目は守られるべき基準が示されており、「～であることが望ましい」とされている検査項目は概ね遵守することが望ましい基準が示されている。「～であること」とされている検査項目として、正しいものの組合せを選びなさい。 No. 15

① 温度
② 浮遊粉じん
③ 一酸化炭素
④ 二酸化窒素
⑤ 騒音レベル

ア ①②　イ ①⑤　ウ ②③　エ ③④　オ ④⑤

第３問　保健教育について、問１、問２に答えなさい。

問１　薬物乱用防止教育について、(1)、(2)に答えなさい。

(1) 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説保健体育編」における「健康な生活と疾病の予防」の「ア　知識」の「(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」の一部である。空欄①～③に当てはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No. 16

> ㋐　薬物乱用と健康
>
> 薬物乱用については，［①］を取り上げ，摂取によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと，薬物の連用により［②］，中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きることを理解できるようにする。
>
> また，薬物乱用は，個人の心身の健全な発育や人格の形成を阻害するだけでなく，社会への適応能力や責任感の発達を妨げるため，暴力，非行，犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることを理解できるようにする。
>
> 喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，好奇心，なげやりな気持ち，過度のストレスなどの心理状態，［③］，宣伝・広告や入手し易さなどの社会環境によって助長されること，それらに適切に対処する必要があることを理解できるようにする。

	①	②	③
ア	シンナーなどの有機溶剤	依存症状が現れ	楽観的な思考
イ	シンナーなどの有機溶剤	死に至ることがあり	断りにくい人間関係
ウ	覚醒剤や大麻	依存症状が現れ	断りにくい人間関係
エ	覚醒剤や大麻	死に至ることがあり	楽観的な思考
オ	覚醒剤や大麻	死に至ることがあり	断りにくい人間関係

(2) 乱用される薬物について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No. 17

> a　覚醒剤は、日本で最も検挙者数の多い薬物で、神経に作用して異常な興奮状態をもたらし、精神依存も強い。
>
> b　大麻は、ここ数年20歳未満の若者の検挙者数が急増しており、依存性はないが、幻覚作用や記憶障害、学習の能力の低下などをもたらす。
>
> c　MDMAは、麻薬などに似た化学構造を持つ有害で危険な物質を使用して、「ハーブ」、「アロマオイル」などのうたい文句で販売されており、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死に至ることもある。

※検挙の状況については、厚生労働省・警察庁・財務省・海上保安庁の令和３年度の統計資料に基づき記載

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	誤	正
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	誤
オ	誤	誤	誤

問２　次の表は、「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり－令和元年度改訂－」（公益財団法人　日本学校保健会）における「発達段階に即した歯みがき指導の重点（参考）」の一部である。空欄①～③に当てはまる語句として正しいものをＡ群から、空欄ａ、ｂに当てはまる語句として正しいものをＢ群から、それぞれ選びなさい。

目安となる学年	歯みがき指導の重点
幼稚園	食後に自分から歯みがきしようとする。 ブクブクうがいができる。
小学校 低学年	［①］をきれいにみがくことができる。 上下前歯の外側をきれいにみがくことができる。
小学校 中学年	上下前歯の内側をきれいにみがくことができる。 歯ブラシの部位を理解し、効果的に使える。 ［②］、小臼歯をきれいにみがくことができる。
小学校 高学年	むし歯や歯肉炎を理解し、自らの意思で継続してみがくことができる。 ［③］をきれいにみがくことができる。 フッ化物配合歯磨剤や［a］などの用具を知る。
中学校 高等学校	自分の歯並びを知り、みがき残しなくみがくことができる。 ［a］などの用具を工夫して使用できる。 フッ化物配合歯磨剤の機能を知り、実践に生かすことができる。 生活習慣とむし歯や歯肉炎の関係を理解し、予防のため生活改善ができる。 ［b］について理解し、予防できる。

※この表はあくまでも平均的な目安である。指導に当たり、子供の歯の萌出状態や歯肉の状態など歯科健康診断等で実態を把握し、それに合わせて目標を再構成する必要がある。

①［No. 18］　②［No. 19］　③［No. 20］　（完全解答）

【Ａ群】

ア　第一大臼歯

イ　第二大臼歯

ウ　第三大臼歯（智歯＝親知らず）

エ　犬歯

a［No. 21］　b［No. 22］　（完全解答）

【Ｂ群】

ア　歯科ミラー

イ　フロス

ウ　歯石

エ　口臭

第４問　次の文は、「学校保健の課題とその対応-養護教諭の職務等に関する調査結果から-（令和２年度改訂）」（公益財団法人　日本学校保健会）における保健組織活動に関する内容の一部である。空欄①～③に当てはまる語句の組合せとして、最も適当なものを選びなさい。　［No. 23］

学校保健委員会は、学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを推進するための組織である。学校保健委員会は、校長、養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員などの教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、保護者代表、児童生徒、地域の保健関係機関の代表などを主な委員とし、［①］が中心となって、運営することとされている。

学校保健委員会については、昭和33年の学校保健法等の施行に伴う文部省の通知において、［②］に規定すべき事項として位置付けられている。また、昭和47年の保健体育審議会答申においても、「学校保健委員会の設置を促進し、その運営の強化を図ることが必要である」と提言されている。（略）

学校保健委員会を通じて、学校内の［③］の中心として機能するだけではなく、学校、家庭、地域の関係機関などの連携による効果的な学校［③］を展開することが可能となることから、その活性化を図っていくことが必要である。

	①	②	③
ア	校長	学校経営計画	教育活動
イ	保健主事	学校経営計画	教育活動
ウ	保健主事	学校保健計画	保健活動
エ	養護教諭	学校経営計画	保健活動
オ	養護教諭	学校保健計画	保健活動

第５問　健康相談について、「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」（平成29年３月　文部科学省）に示されている養護教諭の役割について説明したａ～ｃの文の最も適当な正誤の組合せとして、正しいものを選びなさい。 No. 24

ａ　課題に対応した校内委員会を活用するなど、健康課題を抱える児童生徒を組織で継続的に支援する体制づくりを推進する。
ｂ　地域の関係機関と連携できるような関係性を築くとともに、地域の関係機関をリスト化し、教職員等に周知する。
ｃ　学級担任や保護者等から情報収集を行い、整理した情報を基に、専門性を生かしながら、課題の背景について分析を行う。

	a	b	c
ア	正	正	正
イ	正	正	誤
ウ	正	誤	誤
エ	誤	正	正
オ	誤	誤	正

正答及び配点

令和6年度(2024年度) 北海道・札幌市公立学校教員採用候補者選考検査専門検査

受検区分	受検教科
養護教諭	

問題番号		正答	配点(点)
第1問	No.1	ア	5
	No.2	ア	5
第2問	No.3	イ	5
	No.4	イ	5
	No.5	イ	5
	No.6	ウ	5
	No.7	オ	5
	No.8	エ	5
	No.9	オ	5
	No.10	イ	3
	No.11	エ	3
	No.12	オ	3
	No.13	ウ	3
	No.14	イ	5
	No.15	ウ	5

問題番号		正答	配点(点)
第3問	No.16	ウ	5
	No.17	ウ	5
	No.18	ア	7
	No.19	エ	
	No.20	イ	
	No.21	イ	6
	No.22	エ	
第4問	No.23	ウ	5
第5問	No.24	エ	5